



レンズ は3つのコースからお選びいただけます。

レンズの放課後コース

週1回(水～金 放課後)

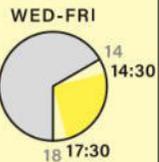
小学1～6年生

レンズのアトリエ、そして、働く・学ぶ・遊ぶが重なり合う複合施設「HOME/WORK VILLAGE」を舞台に、子ども自身が主体的に探究する放課後の時間です。うまくいかないことも、迷うことも含めた試行錯誤のプロセスの中で、考えを形にする力や、自分なりの表現の方法を、他者と関わり合いながら育んでいきます。

開催期間 2026年4月～(通年)

開催曜日 水～金(参加曜日をお選びいただけます)

開催時間 14:30～17:30



※学校やご家庭のご都合にあわせて入退室時間を調整いただけます

※隣接する「こどもラウンジ」は14:00～18:00までご利用いただけます

週末テーマ探究コース

月2回(土・日夕方)

年長児～小学4年生

「ふく(服)」「しょく(食)」「まち(街)」「むし(虫)」の4つのテーマを軸に、手と頭を動かしながら、探究を進めていきます。その道の専門家であるラーニング・パートナーとともに、数ヶ月単位の協働プロジェクトやフィールドワークを交え、観察や調査、発想や表現を行き来しながら、問いを深め、世界/社会とのつながりを広げていきます。

開催期間 2026年4月～(通年)

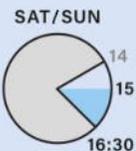
テーマ・開催曜日 ① ふく(第1・3土曜)

② しょく(第1・3日曜)

③ まち(第2・4土曜)

④ むし(第2・4日曜)

開催時間 15:00～16:30



※アトリエには14:00から入室いただけます

おやこコース

月1回(土・日午後)

年少～年長児+保護者(1名)

「ふく(服)」「しょく(食)」「まち(街)」「むし(虫)」4つのテーマを入口に、未就学児と保護者が一緒に参加するコースです。身近な素材や環境に出会い、触れて、試してみる体験を通して「なんだろう?」「もっと知りたい!」というこどもの好奇心から、日常の中にある“学びの種”を見つけていきます。

開催期間 2026年4月～(通年)

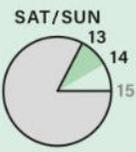
テーマ・開催曜日 ① ふく(第3土曜)

② しょく(第3日曜)

③ まち(第4土曜)

④ むし(第4日曜)

開催時間 13:00～14:00



※アトリエは15:00までご利用いただけます

幼児～小学生のための クリエイティブラーニングスクール



虫
むし



服
ふく

Q レンズ



しょく

食



まち
街



“好き”を
みつける

放課後
コース
もあるよ!

こどもの興味や関心を起点に

実体験を通して多様な世界と出会いながら

自分自身のレンズを磨き

自分なりのかたちで表現するチカラを

育てていきます。

もの見方

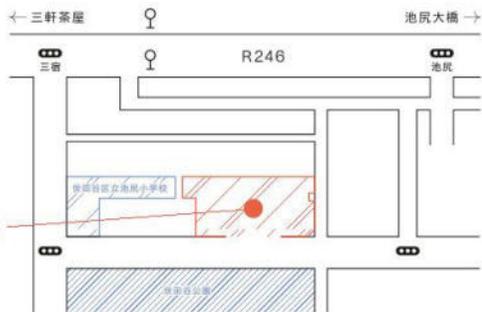
クリエイティブラーニングスクール

Qレンズ

by まちの研究所

東京都世田谷区池尻 2-4-5
HOME/WORK VILLAGE 207

東急田園都市線 池尻大橋駅から徒歩 10分
三軒茶屋駅から徒歩 16分
バス停「三宿」から徒歩 4分



@lens_school



lens-school.jp



まちの研究所
machiken.jp

食

しょく



食べることは、生きること。
人間の血となり肉となる食べ物。
この野菜や、肉や魚はどこから来ているの？
どんな人が関わって、
どう世界とつながっているんだろう？
じっくりと素材を五感で味わい、
食をめぐる広がりにも目を向けていきます。

好きな服を着ると、うれしくなる。
その服にはどんな物語があるんだろう？
どんな素材？
どうやって作ったんだろう？
服を解体して観察してみると、
ボタンや縫い目にも知らなかった
工夫や技術がみえてきます。



服

ふく



街

まち



自分の家、だれかの家、学校、いつもの公園、
よく行くお店。道路や道を歩く人、自転車、
車、電車。まちは、さまざまな要素が集まり、
関わりあってできています。
「まち」を構成するものを観察し、
自分と世界のつながりを探っていきます。

虫の色や形のおもしろさ、不思議な
動き、身を守るための様々な技。
身近な虫から珍しい虫まで
驚きに満ちた虫の世界に出会います。
生き物たちとの関係性を見つめながら、
未来の社会へ探究を広げていきます。



虫

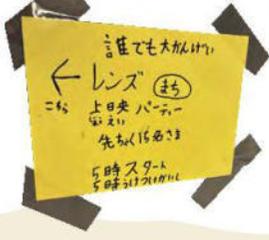
むし

好きをみつける

レンズの放課後

子ども自身が主体的に探究する
放課後の時間です。
アトリエでの制作活動や、
施設内*での新作メニュー開発や
イベントのアイデア、動画制作など
さまざまなプロジェクトを進めます。
「やってみたい」をかたちにする、
社会実践への第一歩です。

*...HOME/WORK VILLAGE 内の飲食店など



レンズの環境



子ども同士が自然に出会い、対話や協働的な探究や
気づきが生まれるように、さまざまな活動が視覚的に感じられる
レイアウトにし、オープンで柔軟な空間を設計しています。
粘土や絵の具、ハサミ、筆、紙、自然物、デジタルツールなど、
さまざまなものを揃え、子どもたちが興味を持ったものについて、
自ら探究・探索し、創作活動を広げていくきっかけをつくります。
子どもたちが様々な表現言語(*)に出会い、
創造力や探究心を引き出すため、
棚の高さや配置、素材の置き方などを
一つひとつ配慮しています。



子どもの学びのプロセスは
「ドキュメンテーション」として
壁に展示され、
みんなが共有し、対話できる
環境が作られます。



HOME/WORK VILLAGE
ホーム/ワーク ヴィレッジ

HOME WORK VILLAGE

2025年夏にグランドオープン。世田谷区
の産業活性化拠点創出への取り組みで
ある旧池尻中学校跡地活用プロジェクト
から誕生した本施設は、日常的に利用いただけるカフェやブック
ラウンジ、コワーキングスペースやスモールオフィスなど、飲食・
物販店舗から教育・文化施設まで、「動く」「遊ぶ」「学ぶ」などの
機能を集積した複合施設です。元校舎と体育館、校庭を一体的に
活用し、週末にはさまざまなイベントが開催されています。
レンズを運営する【まちの研究所】は本プロジェクトに公募段階
より参画しており、次世代に向けた学びの分野を担っていきます。

また、レンズのクラスに隣接する「子どもラウンジ」は、世田谷区
にお住まいの小学生であればどなたでも利用することができます。
水〜日曜の14:00〜18:00まで開放しているため、クラスのない
日でも放課後や休日の居場所のひとつとして活用いただけます。

*表現言語・・・レンズでは、北イタリア発祥の教育アプローチ「レッジョ・エミ
リア・アプローチ」に共感し、学び続けています。同アプローチでは『子どもたち
の100の言葉』の詩を子ども観の中心におき、子どもたちはその可能性において豊
かであり、有能で、力強い存在である。100ものアイデアを、そして100を悠に
こえる表現言語をもって（話し言葉や書くことに留まらず、豊かな創造性や
表現方法をもって）と、この詩は示しています。